

土・まち・みどり

通信第28号

2007. 7.26

発行 土とみどりを守る会

連絡先 3718-8558 (柳島)

CONTENTS ◆土とみどりのミニ園遊会 ◆おくさわ今と昔 ◆アンケート分析の報告 ◆グリーンサムのお庭拝見
◆昔の奥沢の風景写真を探しています！吊り鉢で街を彩りませんか！ ◆会からのお知らせ

土とみどりのミニ園遊会

5月のつどい

5月19日のミニ園遊会の日の朝は、雨雲が次々に現れてはひとしきり雨を降らせて去っていく天候でした。天気予報を信じて開催の方針を決めましたが、最後の雨雲の降りが激しくて準備がおくれ、総会を慌ただしく終って園遊会になりました。

昨年の失敗を教訓にして今年は元気な花苗が並び、トマトとナスの苗もすくすく伸びて風にそよいでいました。手作りの味噌と梅干・手作り菓子と台湾阿里山の新茶は売り切れ、花苗は殆んど売れて残り5・6鉢に、頒布苗も200本ぐらいたったものが残り僅か10数本という盛況でした。会員のお庭の池に泳いでいたおたまじゃくしも人気で、お孫さんのお土産に持ち帰られる方など楽しいふれあいの場になりました。雨の後



には爽やかな風が吹き、日ざしも余りきつくなって、のんびり楽しい時間が過ぎていきました。今年には会員の方にカーネーションの花束を差し上げました。後日に道でお会いすると“ナスの花が咲きました”“トマトが実をつけました”“お花が元気ですよ”と楽しい会話があって、しあわせを感じています。

今年も土地を快くお貸しくださった地主さん・野菜苗を種から育てて御提供下さった歯科医の中尾先生・売店ボランティアの方々・会場周辺のお宅、多くの皆様の御協力の賜で楽しい催しができました。ありがとうございました。そして御来場下さった皆様にお礼を申し上げます。また、雨天順延と思翌日お出かけ下さった方には申しわけなく、お詫び致します。

(柳島)



おくさわ今と昔

さくら

奥沢 2 丁目 白井 克明

奥沢 2 丁目の大井町線踏切 (緑が丘 1 号踏切) を越え北へ坂道を下ったところで出会う区境の遊歩道 (九品仏緑道) は、ふだん薄暗いさくら並木だけに花の頃の華やぎはまた格別です。

父の最後のお花見となったのはこの場所でした。

我が家から 300 m 余、古い呆けた父が杖を引き引きようやく歩み着ける限度が此処までだったのです。

少し前、開花宣言を待ち焦がれながら入院した母のことは伏せてありましたが、それとなく察してガックリ気力を萎えさせた父を、何とか騙し励まして元気を取り戻させたいと思いむりやり此処まで連れ出したのでした。

しかし 30 分も費やしてやっと辿り着いた父はもうすっかり疲れ果て、並木道を逍遙するどころかベンチにへたり込んでただ喘ぐばかり、昔だったら俳句の二つ三つもひねって得意顔をするところでしょうに、今は半分目を閉じた青白い顔をあお向けて、その額や頬に散りかかるさくらの花びらの一片一片が父の生気を吸い取ってゆくように感ぜられました。帰り道は案の定途中で足が一步も前になくなり、仕方なく背中に負ぶう破目になりましたが、「軽きに泣きて・・・」どころかまだズシリと充分に重たく、首筋にかかるくさい息にも辟易しながらほうほうの態で玄関先に倒れ込んだのでした。

独りよがりの思いつき、押し付け親孝行の苦く悲しい思い出です。

それから間もなく葉桜の頃先ず母が逝き、その年の暮には父も後を追いました。

その後も毎年さくらは一層妖しさを増し華やかに咲いています。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回 2 人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。



我が家の桜

奥沢 2 丁目 桜井 勝彦

私の家には大きな桜の木があります。春になれば、その枝に支えきれないくらいにたくさんの美しい花を咲かせます。

9 年前、祖父の代から住んでいた隅田川沿いの土地が東京都の都市計画の予定地となり、引越しを余儀なくされました。それから約 2 年間の不動産探しを経て、この奥沢に住居を構えるに至りました。土地を探すのに 2 年もの時間がかかった最大の理由は「ここだ！！」と決心させる“決めて”のようなものに遇わなかったからだと思います。そして業者からこの奥沢の土地を紹介された時に、敷地の中でたくさんの緑の葉を茂らせている桜の木を見て、私は直感的にその“決めて”を得る事が出来ました。

以来、此処に暮らし始めてから 6 年、毎年美しい花を咲かせる我が家の桜の他にもこの奥沢には多くの楽しい緑があることを知りました。買物をする時に通る緑道には春に美しい花が咲き競う桜並木があり、ご近所の庭先には可愛い花々やみごとな草木を見ることが出来ます。そうした美しい緑は私に奥沢に住む人たちの緑を大切にす気持ちを感じさせてくれます。奥沢を訪れた人々が実感するこの街の環境の良さは、この奥沢に住む人たちの気持の現れたものだと思います。

私も、この奥沢に住むことを私や家族に決心させてくれた我が家の桜に感謝し、これからも長く美しい花を咲かせてくれるように大切にしていきたいと思っています。

アンケート分析の報告

1. 目的

土とみどりの会は発足後10年を迎えるのを機に、会員の皆様が何を希望されているのかを知り、今後の活動のあり方を考えていくためにアンケートを実施しました（平成18年10月実施）。多くの方から（144会員から52名）の回答を頂きご協力に感謝申し上げます。

2. アンケートの方法

アンケートは選択方式で回答を頂きましたが、自由記載もお願いしましたところ、貴重なご意見をご丁寧にお書き頂き大変参考になりました。アンケートの設問は次のとおりです。

- 1) 現在の活動について：(1) つどい (2) ニュースレター
- 2) 活動についてのご関心は？
- 3) 個々の活動について：(1) 園芸について (2) 自家の草や木 ①除草・落葉掃き・剪定 ②隣家の苦情 ③対策の支援 (3) 今後の活動のあり方

3. アンケート結果の分析

1) 現在の活動については、最近の行事（つどい）や会報（ニュースレター）で高い関心があったのは、「奥沢の昔を語る」に見られるような町の歴史についてでした（図1）。活動全般については、会員・会の緑の推進、文化交流及び拡大・公への働きかけ、がほぼ同じ位で、幅広い関心があることが判りました（前号で報告済）。個々の活動については、(1) 園芸は、指導だけでなく庭の見学や公開に関心が示され、(2) 自分の家の草木、①除草・落葉掃き・剪定は殆どの方が自ら対処していますが、一部には人手不足(2名)や、雨樋の掃除の危険性に困っており(5名)、ボランティアの紹介を希望する方(7名)がおられました。②樹木での隣家の苦情については、殆どの方が対処していますが、③対策の支援については、話を聞いて欲しい(2名)、

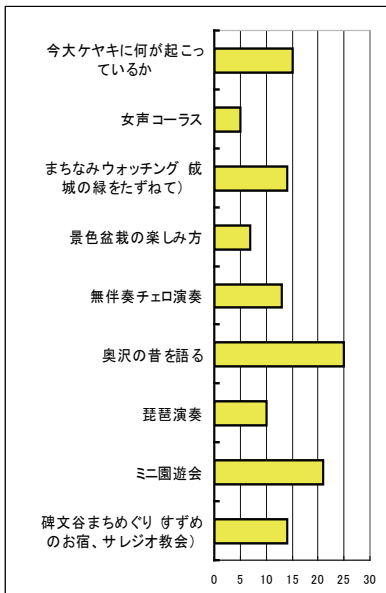


図1「つどい」について

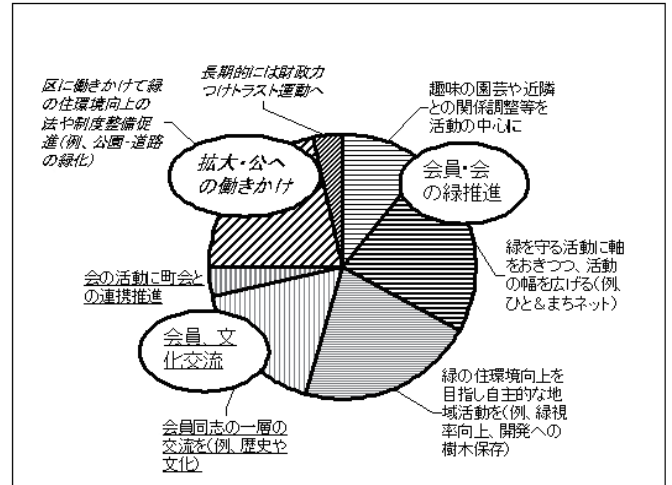


図2「今後の活動のあり方」について
調停して欲しいという方が(3名)おられました。

(3) 今後のあり方については、緑推進の自主的活動、文化交流及び拡大・公への働きかけの3つの活動をすべきとのご意見でした（図2）。

4. アンケート分析のまとめ

分析結果を総括してみると、・活動への関心及び今後の活動のあり方共、土とみどりの自主活動、文化交流活動、公的活動に同じ程度に強く、これは今まで会が続けてきた活動方針とほぼ同じであることが判りました。・「つどい」や「ニュースレター」では、歴史等奥沢の街そのものへの関心が強いことが判り、会の活動に活かしていきます。・草木や樹木の近隣関係については、人手不足、苦情への対応は数は少なかったものの、難しいが検討がすべき課題です。・自由記載からの貴重なご意見（図3）として、会員高齢化（会員平均約60歳、若手の参加が必要）や高齢者支援も課題です。今回のアンケート結果を理事会等で議論し対策検討を始めています。（鈴木）（詳細報告ご希望の方は事務局へお問い合わせ下さい。）

土とみどりの自主的活動への強い希望	土とみどりだけでなく	開発へのみどり対策
<p>現在の緑をいかに守るかが最優先課題</p> <p>・区への働きかけとは別に住民サイドによる、例えば生垣、駐車場に樹木の宣言を</p> <p>・会員が一緒にできる具体的な行動を 例、推奨樹木の落葉掃き</p> <p>・長期不在の家の木を会員が手入れをきつかけにして、緑の保全運動の啓蒙を</p> <p>・樹木の保存だけでなく、空地に花や皆で集まるふれあいの会を</p>	<p>・まちの歴史調べは、昔の人の住み方が今のまちの良さどう繋がっているか、又何を次世代に引き継いでもらうかを考えて</p> <p>・近所の付き合いが自由にでき、顔見知りになって、困ったときに助け合いができるように</p> <p>・東玉川へも拡大し気楽な活動の輪を</p> <p>・震災時井戸水提供の家」になっている→土とみどりと水を守る会へ</p> <p>土とみどりの運動にまちの美化（犬のしつけ、吸殻の投げ捨て）もソフトに組合わせて</p>	<p>・建蔽率違反の物件への行政チェック</p> <p>・緑減少防止のための相談役（弁護士、不動産屋）を</p>
みどりへの取り組み姿勢	年齢層の拡大	高齢者支援
<p>・戸建の家に住まなくても、庭がなくても土と緑を育てる活動を</p> <p>・狭い場所でも、緑への心があれば、緑の風が漂う町が創れる</p>	<p>つどいはいつも同じ方が出席</p> <p>会の発展のためには、若い人の参加が必要、幼児の参加できる遊びもいれては</p> <p>行事参加者を見て中高年が多い、会維持のためにも若い人の参加促進を</p>	<p>・身体的に余裕なく手伝えずに残念共働き?)</p> <p>・外出できないので写真や文</p> <p>・高齢化に伴う緑を守ることの困難さ、一人暮らしの年金生活者に、町内で除草、剪定等を無償で</p>

図3「自由意見」から

グリーンサムのお庭拝見 vol.7

六月は紫陽花 雨の候は更なり。勝手に枕草子気分薄曇りの中、3丁目25の箕浦さん宅を訪ねました。道添いの東側にはフェンスから溢れそうに深い青と赤紫の紫陽花が咲き、萼あじさいも咲き競っています。お母様の挿木だそうです。普通は3倍はあるという大葉のカミヤツデ・トラノオ・柚子、角を南に回ると山茶花、そしてブラジル原産という2m余の珍しいフェイジョアの木。花は少し盛りを過ぎたところ。お庭に入ると居間の東から南には夏蜜柑・みかん・金柑。南に紅梅1本白梅2本があり梅の花盛りには夏蜜柑の黄色を添えて華やかに、御近所の方をお招きして花見を楽しまれたそうです。

南中央のモチの木は、昭和20年5月24日の空襲で家と共に焼け、幹の中心部はなくなって周囲の部分が左側1m右側2mの高さで残りました。50年経った今も内側の黒焦げはそのままに戦災の遺物

としての存在感を示しながら、残った所から枝葉を繁らせている立派な姿に感動しました。居間の右手に、建て直した旧宅の屋根瓦・足利で求めた石臼・大磯や若狭湾等で集めた種々の石や南極の石がとても風情よく配置された坪庭があります。奥様・ご息子との合作だそうで、みごとな出来栄です。

北側の7m程のフェンスには、20年来毎年植えている夕顔が50cmほどに育っています。御近所の方がこの花を描いて展覧会に出品された時には感慨もひとしおでしたとのこと。

途中からお孫さんが付かず離れずずっと一緒でした。南西に作った菜園の水やりや手入れを始め、ダンボールを切り抜き彩色したすばらしい出来栄の沢山の電車模型も共に楽しまれているとのこと。愛情のこもったお庭ばかりで無く、伝統的な典型的な理想的な日本の家族の有りようを拝見させて頂き、心が熱くなりました。満開のあじさいが見送っていました。(立花)

昔の奥沢の風景写真をさがしています！

アンケート結果でも御希望の多かった「奥沢の歴史」をたどって見るために、欠かせないのが古い奥沢のまちの風景を写した写真です。古くからお住まいの方のお宅には、大切にしまわれている写真があると思います。どうぞお貸してください。写真とコメントを合せて、壁新聞にしてお目にかける計画です。そのために世田谷区のコミュニティ活性化資金に応募して資金を受けることも決まりました。壁新聞を楽しく有益なものにするために、また旧きをたずねてこれからの街づくりの指針とするために、どうぞご協力をお願いいたします。(柳島)

吊り鉢で街を彩りませんか！

緑は私達の生活に無くてはならないばかりでなく、眼にふれる楽しみと心の癒しを与えてくれるかけ替えの無い**共生する命**です。都市化された人工的住いの中で緑と花を身近に感じて楽しむためには、人の手でその**命を保護**し育てなければなりません。これは趣味や楽しみ以上の共生の営みです。

住宅街の道路に花や緑が増えてくることが、そこに暮らす人々にどれ程の大きな安らぎと豊かな心をもたらしてくれるか計り知れないものがあります。それでこそ**豊かな街**といえるでしょう。

豊かな街を作るために手軽に出来ることーその一つ的手段としてハンギングバスケット(吊り下げタイプの鉢)を塀・フェンスに飾る方法があります。早速やってみようという方、初めての方でもどうぞお申し出下さい。熟練した会員が準備や植付け後のお手伝いをいたします。(坂内)

各件ともご連絡先はこの頁下段にあります。



会からのお知らせ

●ことしの秋のつどい(まちめぐり)は、グリーンマップを片手に奥沢近辺を歩くプランで準備中です。九品仏周辺から等々力の大平農園にあしを伸ばしてみましよう。くわしくは後日チラシや会の掲示板でお知らせしますから御参加下さい。9月末頃の予定です。

●2007年度の総会は、雨で開始がおくれ僅かな時間でしたが議事に御賛同いただき、新年度が発足しました。会を結成

して10年目の節目の年に大きく前進できるように、理事一同力を盡します。新たに展開する壁新聞やハンギングバスケットなどの活動にどうぞ協力下さいますようお願いいたします。

●土とみどりを守る会では、会員になって下さる方を常時募集しています。会を支える会費は1口1,000円です。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558